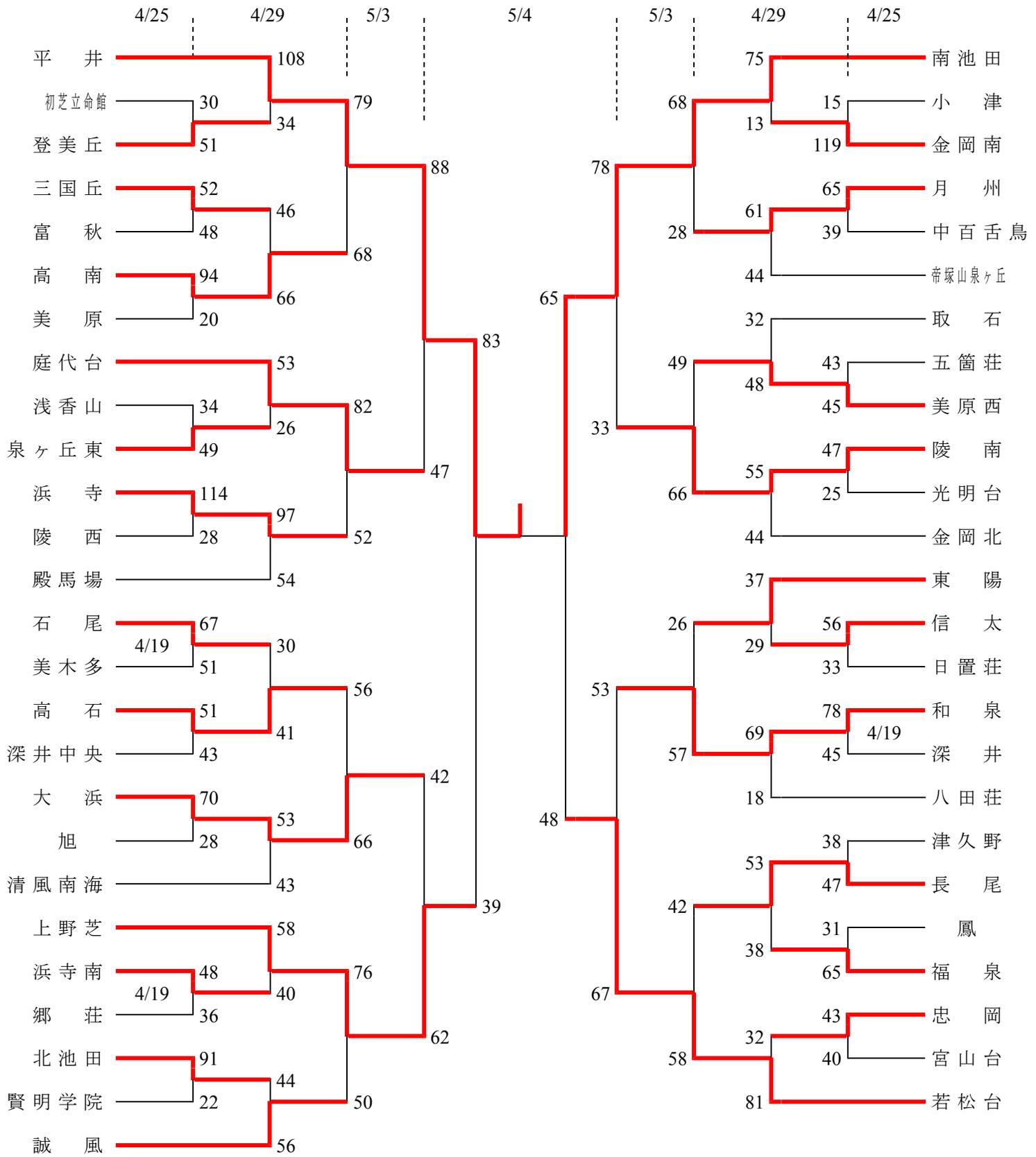


2015年度泉北地区春季大会

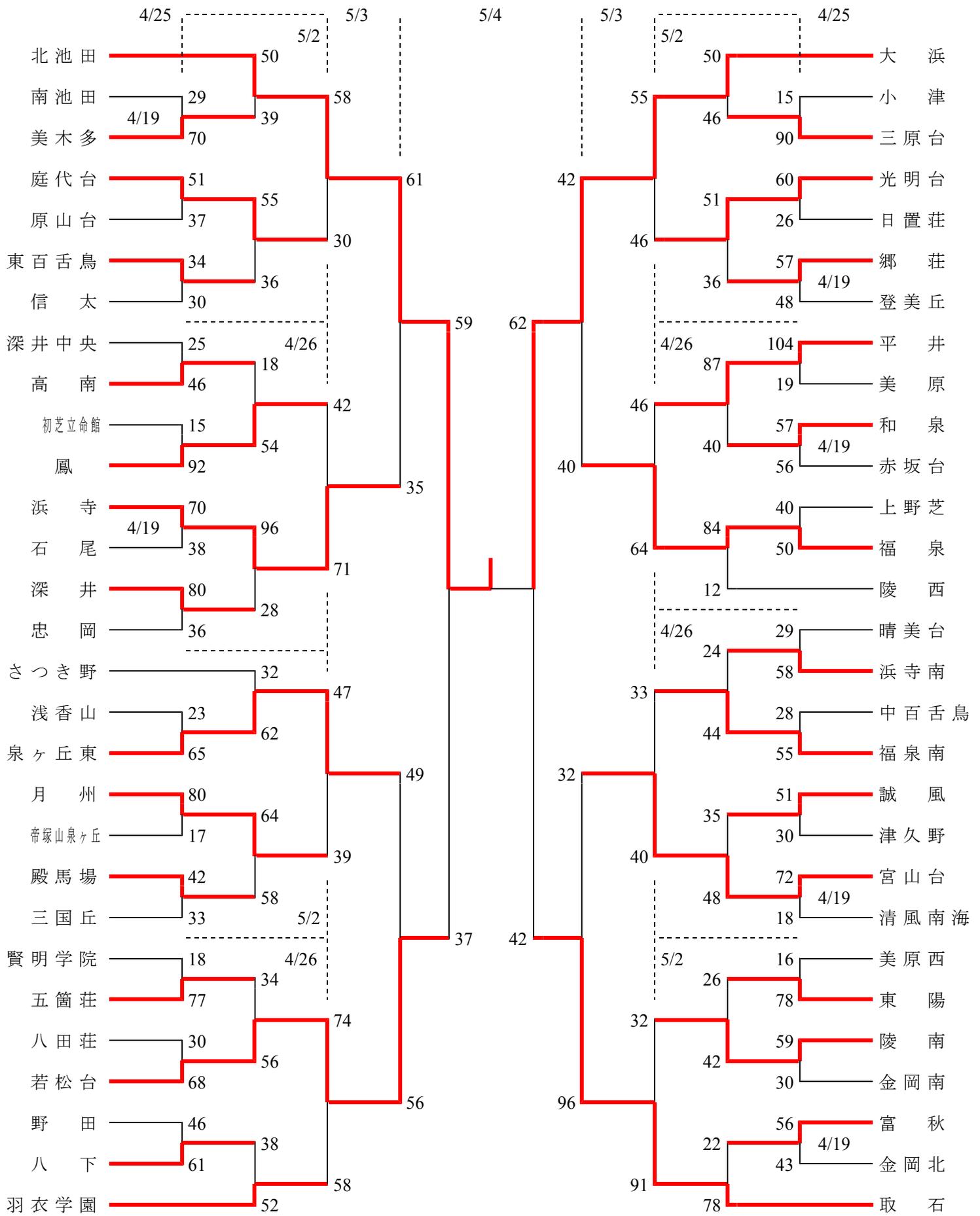
男子の部



決勝
 平井 70 - 52 南池田
 20 1Q 10
 17 2Q 14
 18 3Q 12
 15 4Q 16

3位決定戦
 上野芝 53 - 66 若松台

女子の部



決勝
北池田 5 5 - 4 2 大浜
4 1Q 8
22 2Q 14
14 3Q 12
15 4Q 8

3位決定戦
若松台 4 0 - 5 4 取石

男子決勝戦評 平井 70-52 南池田

平井④⑤⑥⑦⑧、南池田④⑤⑥⑦⑨で両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。南池田はジャンプボールから即座に先制点を奪取し、続けて⑩のジャンプシュートで4-0とリードする。対する平井は⑥⑤のドライブと3Pで対抗し、逆転する。南池田はカッティングとドライブで平井のディフェンスを崩しにかかるものの、ゴール下のシュートが決まらず波に乗れない。平井はその間に⑤の1 on 1や④の3Pでリードを広げ、20-10で1Qを終える。

2Qで南池田は④の3Pやジャンプシュートで食い下がる。一方、平井は⑦⑧が積極的にゴールを攻めてリードを広げる。ここから南池田は④の3Pを足がかりに、⑩が連続してリバウンドからシュートを沈め、33-24と点差を詰める。しかし、平井はタイムアウトで落ち着きを取り戻し、37-24として前半が終わる。

後半に入ると、南池田はゾーンプレスから1-1-3のゾーンにディフェンスをチェンジする。対して平井はディフェンスを巧みにゆさぶり、ドライブやドライブから加点していく。南池田はなんとかインサイドからオフENSEを展開しようとするもうまくいかず、逆に平井に連続得点を許し、20点差をつけられる。

最終Qはお互いに足が止まり、ミスが目立ち始める。ノーガードの打ち合いとなるものの、流れは変わらないまま、70-52で平井が優勝を飾った。

平井はディフェンスの粘りを、南池田はゴール近辺のシュート率を修正し、夏の選手権大会に挑んでほしい。

(福嶋)

女子決勝戦評 北池田 55-42 大浜

北池田④⑤⑥⑦⑧、大浜④⑤⑥⑦⑧で両チームともにオールコートマンツーマンでスタート。ゲーム序盤、北池田は④⑤のドライブで点を取りにいくもののシュートが入らない。対する大浜も⑦のハイポストからのシュートがゴールに嫌われる。得点がなかなか動かず、両チームともに我慢の展開を強いられる。そんな中、両チームともにリバウンドからの得点が入る。大浜は⑥を中心にリバウンド争いで優位に立つ。スロースタートなゲームとなった。

2Qに入ると北池田は鋭いドライブが決まり出す。対して大浜は⑥のポストプレイから得点を重ねる。ゲームの流れは北池田の④の3Pで変わった。北池田が少しずつペースをつかむ。前半の終盤には互いにシュートの打ち合いを演じるも、26-22と北池田がリードを奪って折り返す。

後半が始まると、大浜④の3Pが決まり、ここから一進一退の攻防が続く。大浜が得点した後、必ず北池田の④がシュートを決め、流れを渡さない。ここから北池田④と⑧の3Pが炸裂し、点差が開く。

4Qが始まっても大浜は北池田の④、⑧の鋭いドライブを抑えきれず点差が徐々に開いていく。大浜もドライブやポストプレイで反撃を試みるもリングに嫌われる。疲れの見える大浜に対して、北池田はディフェンスのプレッシャーを強め、大浜の足が止まり始める。終始ペースを乱さなかった北池田が55-42で優勝に輝いた。

大阪選手権大会に向け、両チームともに一層の精進と確実な調整をし、泉北の代表として近畿大会を狙ってほしい。

(吉永)